

# 松島町令和2年度施政方針と一般会計予算の概要

## 「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち 松島」

3月に開催された松島町議会定例会で、一般会計予算案他8つの各種特別会計予算案が承認されました。本年度の施政方針と予算の概要について紹介します。

### 心地よく元気な暮らしを支えるまちづくり

【土地利用】品井沼地区地区整備計画に続く新たな地区計画策定について、調査や検討、同意権者である宮城県との協議など引き続き取り組みます。

【河川・港湾】高城川の河川改修の早期完成に向けて、引き続き宮城県と調整を図るとともに、田中川・新川の改修について要望します。

【住宅】愛宕町営住宅の空き家4棟について、解体工事を実施します。また、一般住宅について、耐震化整備として、普及、啓発を図りながら、耐震診断及び耐震改修の助成を継続します。

【上水道】二子屋浄水場施設建設工事を

引き続き実施するとともに、配水管の布設替などの更新工事を実施します。また、水道水の水質検査や放射性物質検査を徹底し、安全安心な水の供給に努めます。

【下水道】汚水処理施設の整備について、浄化センターの長寿命化計画に基づき改築工事を引き続き実施し、老朽化した施設機器の更新を行うとともに、下水道未普及地区の解消を目的として、汚水管渠築造工事を実施します。

【道路】雨水排水施設の整備については、西柳雨水ポンプ場の新設工事を引き続き実施するとともに、既存施設の保守保全に努めます。町道の整備推進について、各避難道路整備の完成に努めると

ともに、松島大橋災害復旧工事の早期完成を目指します。また、県道の整備推進について、初原バイパスの国道45号根廻交差点までの延伸実現と県道仙台松島線の桜渡戸・初原地区における拡幅や歩道整備等について引き続き宮城県へ要望するとともに、松島橋災害復旧工事の完成に向けて調整します。さらに、国道の整備推進については、国土交通省による国道45号の歩道整備について、松島駅前までの整備を含め、早期完成に向けた調整を図ります。

【公共交通】誰もが利用しやすい町営バス運行の構築を図るため、路線及びダイヤ並びに運営手法も含めた見直し検討を行います。また、松島海岸駅ハリアフリー設備整備事業について、令和3年度末の新駅舎完成に向け、引き続き国や宮城県とともに事業費の補助による支援を行います。

【情報・通信】町の魅力を効果的に発信するため、SNS等を引き続き活用していくとともに、広報紙についても、読みやすい紙面づくりに努めます。

●主な事業	
避難道路整備事業	500,258千円
根廻磯崎線道路整備事業	300,000千円
松島大橋災害復旧事業	1,170,151千円
松島海岸駅整備事業費補助金	197,000千円



### 人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり

【自然環境保全】自然環境保全については、松くい虫防除事業による薬剤の空中散布や樹幹注入、松くい虫被害木やナラ枯れ被害木の伐倒による森林の保全を図るとともに、抵抗性アカマツの植樹事業による松林の回復を継続します。

環境美化推進員による定期的な巡回により不法投棄の早期発見や投棄防止に努めるとともに、松島町公衆衛生組合と連携し、家庭ごみの分別徹底とごみの発生抑制を推進します。

【交通安全】令和元年6月8日に達成した「交通事故死事故ゼロの年間達成」の記録を継続できるように関係機関と協力し、交通安全啓発活動を引き続き推進します。

また、危険箇所へのカーブミラー等の設置や老朽化した設備の更新により、交通事故防止に努めます。

【消防・防災】国土強靱化地域計画について、その理念や基本計画を踏まえ、国・県と一体となって「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた

安全・安心なまちづくりを推進するため、町の地域防災計画との整合性を図りながら策定します。また、防災訓練を総合防災訓練形式で実施し、多くの住民が参加できる体験型訓練を充実させるとともに、自主防災組織の育成と支援を継続します。

さらに、消防団の装備基準に基づき装備品の整備や老朽化した消防資機材の更新を行い、地域防災力の核として迅速な消防活動ができるよう消防力の充実・強化を図ります。また、避難施設等について、施設の有効利用や適切な維持管理に努めます。

防災行政無線の整備については、引き続き難聴区域への戸別受信機の無償貸与を行うなど、災害時の情報伝達機能の強化を図ります。

【防犯】各地域の防犯指導隊への活動支援を継続し連携・情報共有を図りながら地域事情に合わせた活動支援を行うとともに、警察等の関係機関の協力を得ながら地域防犯活動の充実を図ります。



### 心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり

【保健・医療】疾病予防・重症化予防・介護予防の一体的な取組を推進するため、健診や医療、介護の各種サービス等を活用して健康課題を把握するとともに、地域サロン等の通いの場において、フレイル予防や糖尿病重症化予防のための保健事業を実施します。

医療・福祉等の関係機関と協働して健康相談や産後ケア事業を実施し、妊娠前から子育て期まで包括的に支援する体制づくりに努めます。また、妊娠を希望する夫婦の経済的及び精神的負担を軽減するため、特定不妊治療助成事業の拡充を図ります。

【高齢者福祉・介護予防】ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業や宅配夕食サービス事業等を継続して実施し、高齢者の日常生活を支援します。また、保健福祉センターの施設管理計画を作成し、長期的かつ適正な管理運営を実施します。

介護予防教室等へ新たにリハビリテーション専門職を派遣するなど、地域リハビリテーション活動支援事業を実施し、高齢

者の介護予防を推進します。また、中長期的な介護サービスの見込量及び保険給付費並びに介護保険料の水準を推計し、持続可能な介護保険事業の運営を図るため、令和3年度からの高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定します。総合事業の対象者及び必要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメント及び介護予防サービス計画を策定し、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう支援を継続します。

【児童福祉】幼保連携型認定こども園とする方向で検討を行っている幼稚園・保育所の再編について、建設場所の候補地を松島運動公園周辺としたところであり、松島町社会福祉協議会と費用負担や事務分担などについて協議します。

また、令和2年度からの5年間を計画期間とする「松島町子ども・子育て支援事業計画（第二期）」を策定し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりと、全ての子どもが健やかに

成長できる地域づくりを実現するため、効果的な事業の推進を図ります。

【障がい者・障がい児福祉】

日常生活及び社会生活上における相談支援機能の充実を図ります。

また、障害者総合支援法では障害種別に関わらない福祉サービスの一元的な提供が図られていることから、障害者医療費の助成制度の対象についても精神障害者を新たに加えます。

【社会保障】

国民健康保険被保険者の高齢化や医療の高度化等を背景に、1人当たりの医療費が年々増加していますが、国保運営の更なる安定化をめざし、財政運営の責任主体である宮城県と、より一層の協力・連携を図りながら、資格の管理や保険給付等、地域におけるきめ細かい事業を適切に実施します。

本町の75歳以上の割合が年々増加し、高齢化、長寿化が進んでおり、その役割はますます高まっていますことから、引き続き各種申請・届出の受付、保険料の徴収等、高齢者の身近な窓口として、適正に努めます。

【スポーツ振興】

東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーが松島町を通過することが決定していることから、官民一体となって盛り上げます。

【文化財保護】

特別名勝松島保存管理計画に基づき適正な管理徹底に努めるとともに、「松島湾三町文化財展」や「松島れきし再発見講座」並びに有効活用を図ります。



おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり

【国際観光】

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、国内外から訪れる観光客の方が安心して松島町に滞在し、観光を楽しむよう受入体制整備に努めます。

また、令和3年度に実施が予定されている東北6県による「東北デスティネーションキャンペーン」に向けて、町内事業者や周辺自治体、宮城県等と連



●主な事業

特定不妊治療助成事業	1,050千円
健康診査	37,510千円
高齢者福祉助成事業（紙おむつ助成・タクシー助成）	2,693千円
介護予防・生活支援サービス事業	29,281千円

●主な事業

外国語指導助手（ALT）配置事業	7,560千円
子どもの心のケアハウス運営支援事業	3,725千円
中学校プール解体事業	23,114千円
中学校校舎水道管改修事業	44,814千円

自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり

【学校教育】

松島町教育大綱及び松島町教育振興基本計画に基づき、「誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人」をめざす姿とし、地域性など各校の実態を踏まえ、特色を生かした教育を推進します。学校と保護者や地域の皆さまと一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を推進します。

外国語指導助手2名の学校派遣を継続するとともに、保育所・幼稚園の幼児を対象に英語に親しむ活動を実施します。

また、小中連携英語教育推進事業においては、小中学校が連携した児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。

さらに、松島こども英語カイド事業により、松島の魅力を外国人観光客に伝えられる土壌を醸成します。

全国学力・学習状況調査と町内統一学力テストを生かした指導を行うとともに、家庭学習の習慣化に向けた取組を推進します。また、「まつしま子どもの心

のケアハウス」事業により、不登校児童生徒及び保護者への支援を引き続き実施します。

新学習指導要領に対応した「ICT環境」の整備を進めます。

また、松島中学校において、プール解体事業と校舎水道管改修事業を実施し、安全な学習環境の整備に努めます。

さらに、第二小学校及び第五小学校の体育館のLED化を進め、省エネルギー化を図ります。アプローチ・カリキュラムに基づいて、小学校入学に向けた松島らしい幼児教育を推進し、笑顔あふれる元気でたくましい子どもの育成に努めます。

栄養バランスのとれた給食献立を提供するための賄材料費を確保するため、令和2年4月から学校給食費の改定を行いながら、今後も地産地消の推進や質の高い食材の調達、児童生徒のニーズを反映した給食提供と食育指導の充実に努めます。

【生涯学習】

家庭・地域・学校の協働による地域と一体となった教育活動を推進するとともに、地域住民

松島湾の恵みを宣伝し、町の観光と食の魅力発信に努めます。

また、日本三景観光連絡協議会の天橋立及び宮島と引き続き連携を図り、日本三景の日に合わせたイベントやかき祭りでのPR事業を実施し、相互間の観光交流を促進します。

景観条例及び景観計画に基づき、適切な誘導を行うとともに、景観重点地区内における景観整備事業補助金制度を継続し、景観形成に対する意識の醸成を図ります。

また、太陽光発電施設の景観重点地区内への設置が懸念されることから、他自治体の事例も参考にしながら、規制区域の設定等の対策を検討します。

【文化遺産】

日本遺産「政宗が育んだ、伊達」な文化」をメインテーマとしたイベントの開催や「松島まるごと学」を通じて、更なる魅

のニーズに応じた各種教室・講座等を開催することで、松島の自然・歴史・文化等の魅力を再発見し、地域に対する郷土愛の醸成に努めます。

放課後子ども教室では、学び支援事業と連携しながら、これまでの実践で得た成果・課題を整理し改善を図り、地域住民の参画を得ながら、児童の安全・安心な居場所づくりを継続します。

また、ジュニア・リーダーによる地域活動等への参加や関係機関と連携した講演会の開催、秋田県にかほ市との中学生リーダー研修会等を通して、青少年の健全な育成を推進・啓発します。

指定管理者と連携しながら特色ある各種事業を実施します。勤労青少年ホームについては、町民の交流する場として、地域に貢献できる施設運営を実施します。

また、分館事業については、町民ふれあいスポーツ大会の開催、各分館の特色ある自主事業の実施、分館長移動研修の開催など、各分館の交流を図りながら、魅力ある地域づくりと社会教育の推進に努めます。

力の発信と認知度の向上を図ります。

●主な事業

東北デスティネーションキャンペーンプロモーション事業	1,200千円
プロモーション動画作成業務（日本語・英語・フランス語）	2,000千円
景観重点地区景観整備事業補助金	1,395千円

豊かな地域で仕事・暮らしがいきいきと心かよいまちづくり

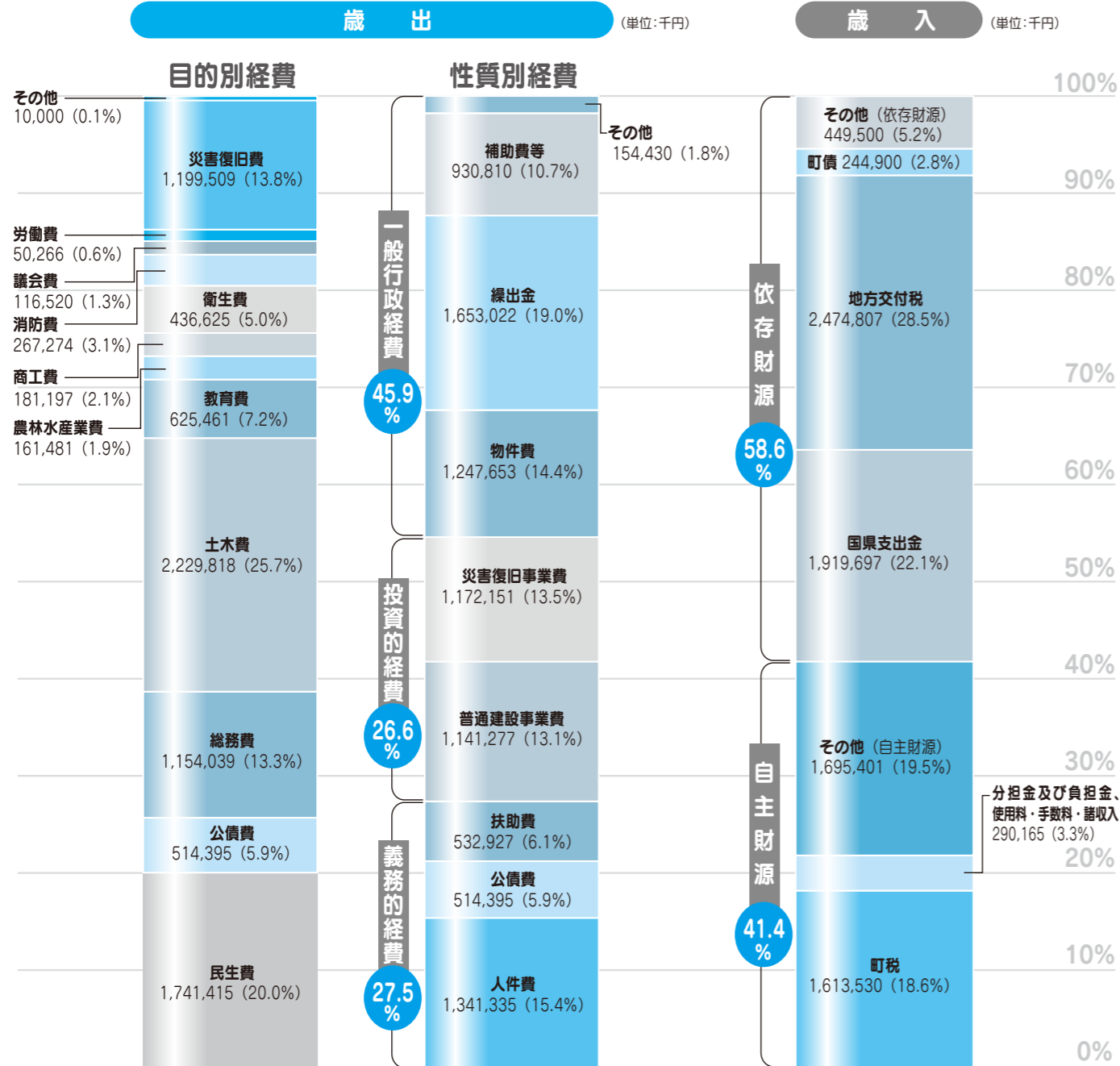
【起業・創業】

商店街の活性化を図るため、新規創業者への支援事業を継続するとともに、利府松島商工会、金融機関等と連携して創業者を支援します。

【観光業】

仙台市や松島湾エリアなど広域にわたる観光地域づくりの舵取り役である地域連携DMO等と協力し、国内外からの誘客活動を実施します。

# 松島町一般会計総額 86億8800万円



※ 構成比の数値は、四捨五入しているため、計の数値と合わない場合があります。

## 一般行政経費

義務的経費や投資的経費などを除いた経常的に支出される経費をいいます。

## 投資的経費

支出の効果が資本形成に向けられ、施設などがストックとして将来に残るものに支出される経費をいいます。

## 義務的経費

人件費や扶助費などの支出が義務づけられ、任意に削減できない経費をいいます。

## 依存財源

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入をいいます。  
地方交付税、国・県支出金などがこれにあたります。

## 自主財源

歳入のうち、自主的に収入できるものをいいます。  
町税、分担金および負担金、使用料および手数料などがこれにあたります。

**【農林業】**  
観瀾亭においては、夜の松島を生かした取組として、引き続き松島紅葉ライトアップ期間の夜間営業や、中秋の名月を楽しむイベントを開催するほか、福浦橋では夜間のライトアップを実施することで、観光客が松島に長く滞在し、多くの方が町内に宿泊していただけるよう努めます。  
また、地場産品を観光客の方に提供できる仕組みづくりの構築と第一次産業の振興を目指すため、松島商談会を「賞味云」と合わせて開催し、産業の総合的な活性化を図ります。

**【水産業】**  
宮城県による磯崎漁港の環境整備について、早期完成に向けた調整を図ります。  
今年度、宮城県で開催予定である「全国豊かな海づくり大会」において、松島産力キ等の水産物を全国に発信するとともに、力キの安定出荷と安全性確保のため衛生検査体制の維持に対する支援事業を継続します。  
また、アサリの稚貝散布と天敵員の駆除作業について、引き続き支援します。

**【商工業】**  
関係団体と協力し、松島の特色を生かした商工振興を図るとともに、中小企業・小規模事業者への支援と円滑な資金調達のため、振興資金融資の斡旋や雇用対策を進めます。  
巧妙化する特殊詐欺などによる被害の未然防止を図るため、消費生活相談員を配置し、消費者問題に関する啓発活動や出前講座を開催するとともに、関係機関との連携を強化します。  
企業立地セミナー等を活用しながら、宮城県内での事業展開を検討している企業に向けたPR

**【定住促進】**  
首都圏で開催される定住フェア等に積極的に参加するとともに、引き続き、復興支援定住促進事業補助金を交付します。  
また、これまでに締結した「包括連携協定」を活用し、各種補助金制度や空き家バンク情報、土地利用情報など、本町の定住施策に結びつく情報について幅広く発信し、県外のみならず県内からの移住・定住も視野に入れたPRに努めるとともに、地域経済の活性化を図ります。

**【広域行政】**  
近年多発する広範囲での自然災害の発生を踏まえ、防災及び減災への課題解決を図るため、

**【行財政】**  
公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合の検討を進め、維持更新費用の縮減・平準化を図ります。  
また、ふるさと納税事業については、制度変更に対応した事業の推進・返礼品の開発を行い、財源確保とともに本町の魅力を発信します。

## 令和2年度当初予算内訳

■ 一般会計	8,688,000 千円
■ 国民健康保険特別会計	1,855,713 千円
■ 後期高齢者医療特別会計	211,030 千円
■ 介護保険特別会計	1,997,012 千円
■ 介護サービス事業特別会計	9,054 千円
■ 観瀾亭等特別会計	94,046 千円
■ 松島区外区有財産特別会計	1,905 千円
■ 下水道事業特別会計	1,825,337 千円
■ 水道事業会計	1,477,597 千円
■ 合計(水道事業会計除く)	14,682,097 千円



## ● 主な事業

定住促進事業	93,257千円
長期総合計画後期基本計画策定業務	10,120千円
企業立地・誘致事業	738千円

他自治体との連携を更に強化するとともに、仙台都市圏広域行政推進協議会や宮城県町村会等を通じて、国や宮城県に対して要望活動を行います。